

令和5年3月15日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和5年1月～3月期実績、令和5年4月～6月期見通し)

《1》 調査時点 令和5年3月3日

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
139企業 (回答率92%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	27	2	2	3	3	10	9	8	7	4	4	25
建設業	26	2	2	3	3	13	13	5	4	3	3	25
小売業	33	9	9	2	2	11	11	9	8	2	2	32
飲食業	22	7	7	2	2	6	6	6	5	1	1	21
宿泊業	20	8	7	5	4	7	5	0	0	0	0	16
サービス業	22	2	2	2	1	12	11	3	3	3	3	20
合計	150	30	29	17	15	59	55	31	27	13	13	139

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感
⑥従業員の人数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

【令和5年1～3月期実績】

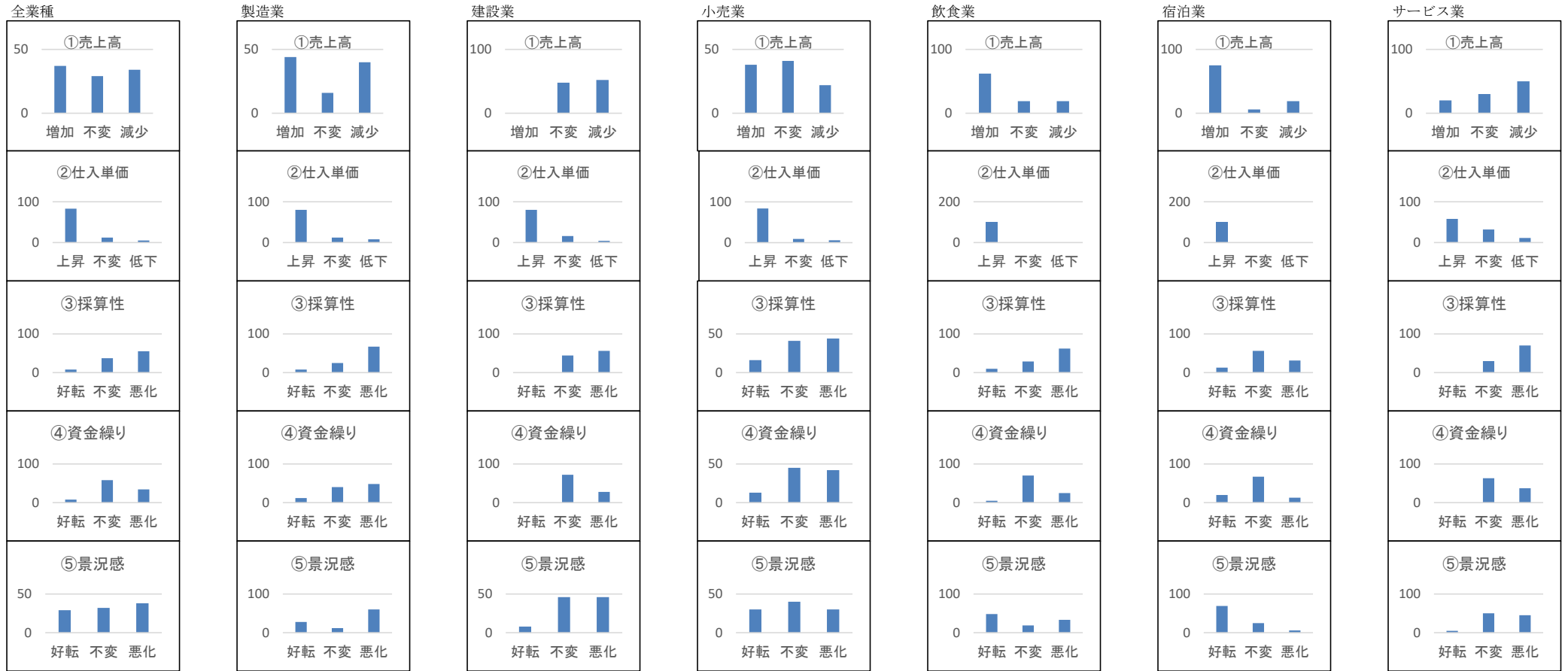
(1)	全業種の売上高DIは、(前期2→) ▲5 (前期比7ポイント悪化) となりマイナス域に転じた。
	業種別売上高DIは、小売業、飲食業はポイントが上昇し、製造業、建設業、宿泊業、サービス業は低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期72→) 76 (前期比4ポイント悪化) となりマイナス幅が拡大した。
	業種別仕入単価DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業はポイントが上昇し、建設業は横ばい。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲40→) ▲48 (前期比8ポイント悪化) となりマイナス幅が拡大した。
	業種別採算性DIは、建設業、小売業はポイントが上昇し、製造業、飲食業、宿泊業、サービス業は低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲28→) ▲26 となり (前期比2ポイント好転) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別資金繰りDIは、建設業、小売業、飲食業はポイントが上昇し、製造業、宿泊業、サービス業は低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲9→) ▲19 (前期比10ポイント悪化) となりマイナス幅が拡大した。
	業種別の景況感DIは、建設業、飲食業はポイントが上昇し、製造業、小売業、宿泊業、サービス業は低下した。

【令和5年4～6月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲8 となり3ポイントマイナス幅が拡大する見通し。(悪化)
	業種別売上高DIは、製造業、建設業、サービス業が上昇し、小売業、飲食業、宿泊業で低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、70 となり6ポイントプラス幅が縮小する見通し。(好転)
	業種別仕入単価DIは、建設業、飲食業が上昇し、製造業、小売業、宿泊業、サービス業で低下の見通し。
(3)	全業種の採算単価DIは、▲48 となり横ばい。
	業種別採算性DIは、製造業、サービス業が上昇し、建設業、飲食業、宿泊業は低下、小売業は横ばいの見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲36 となり10ポイントマイナス幅が拡大する見通し。(悪化)
	業種別の資金繰りDIは、建設業が上昇し、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲26 となり7ポイントマイナス幅が拡大する見通し。(悪化)
	業種別の景況感DIは、製造業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業、小売業、飲食業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（令和4年1月～3月）と比べた今期（令和5年1月～3月）の状況



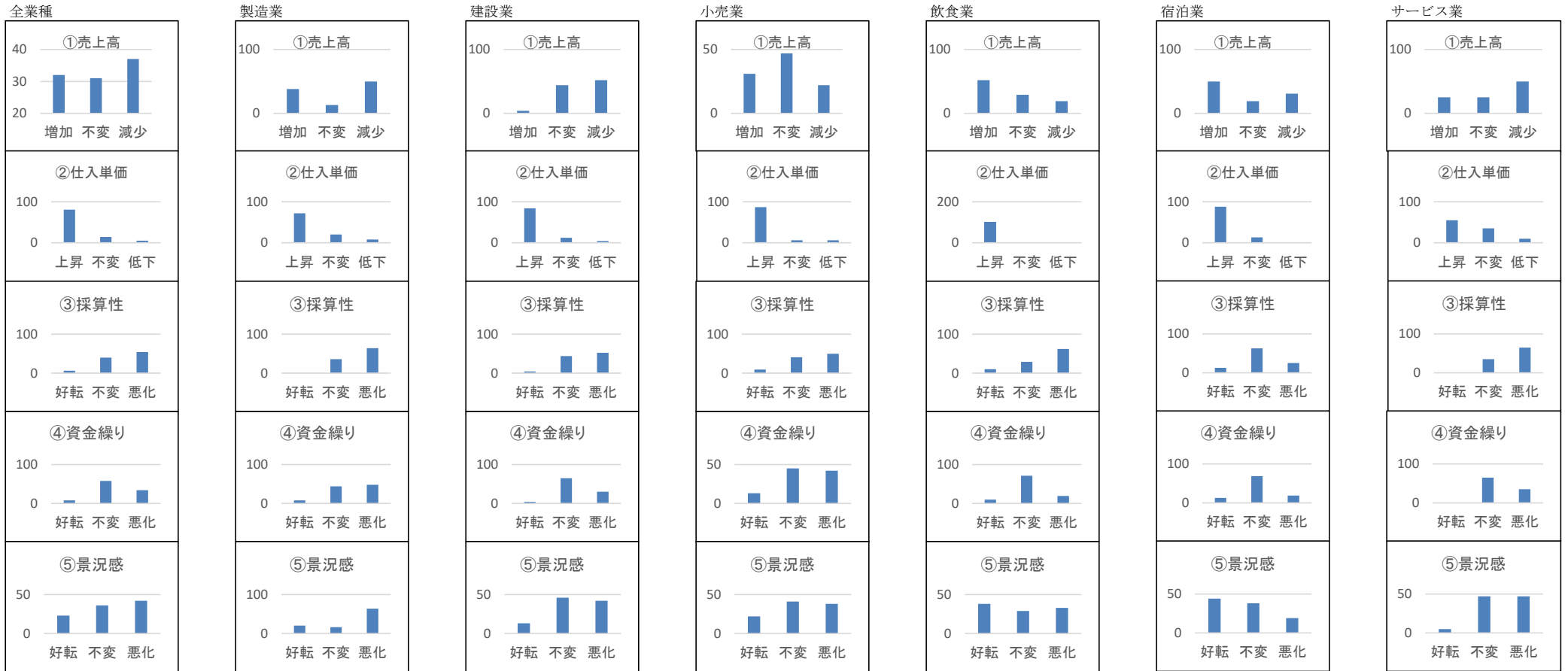
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	3	4	▲ 52	16	43	56	▲ 30
仕入単価	78	72	76	78	100	100	47
採算性	▲ 47	▲ 59	▲ 56	▲ 28	▲ 52	▲ 18	▲ 70
資金繰り	▲ 26	▲ 36	▲ 28	▲ 29	▲ 20	7	▲ 37
景況感	▲ 9	▲ 32	▲ 38	0	15	63	▲ 40

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（令和4年10月～12月）と比べた今期（令和5年1月～3月）の状況



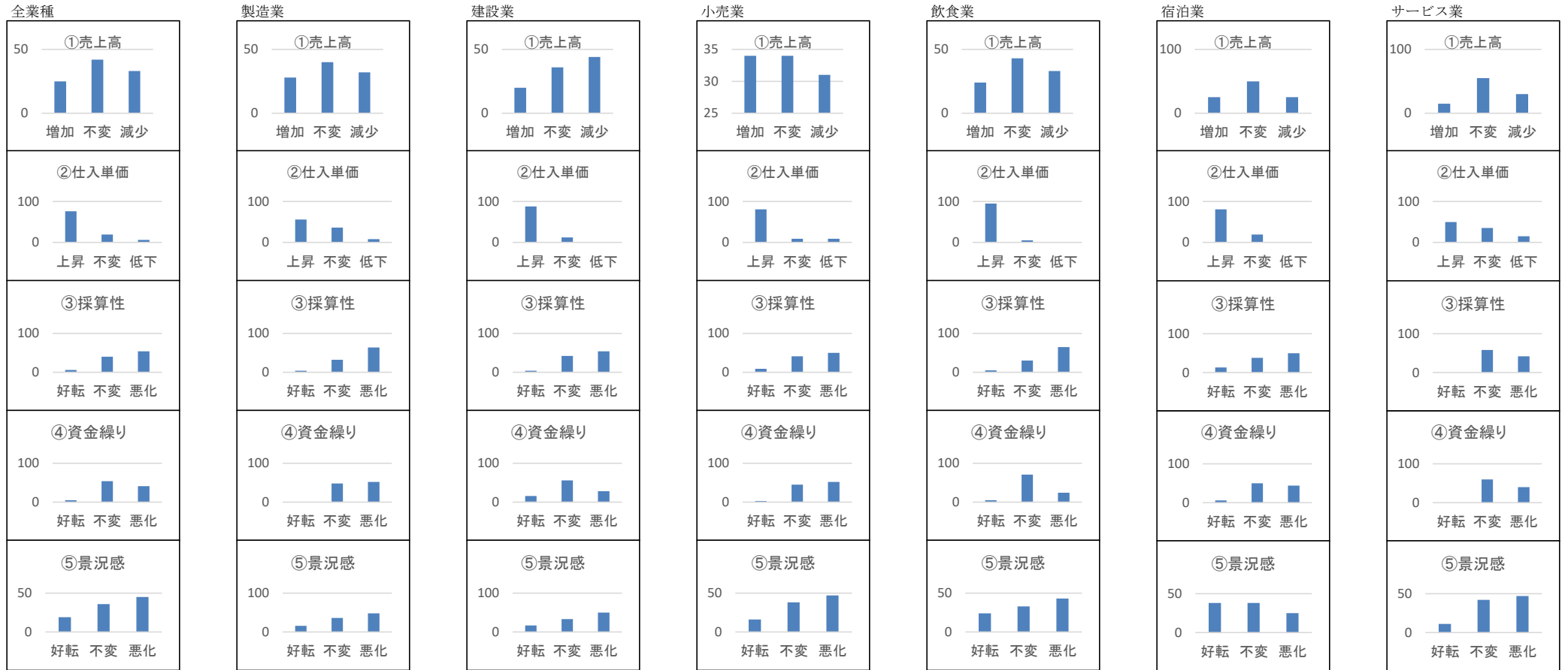
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 5	▲ 12	▲ 48	9	33	19	▲ 25
仕入単価	76	64	80	81	100	88	45
採算性	▲ 48	▲ 64	▲ 48	▲ 41	▲ 52	▲ 12	▲ 65
資金繰り	▲ 26	▲ 40	▲ 26	▲ 29	▲ 9	▲ 6	▲ 35
景況感	▲ 19	▲ 44	▲ 29	▲ 16	5	25	▲ 42

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和5年1月～3月）と比べた来期（令和5年4月～6月）の見通し

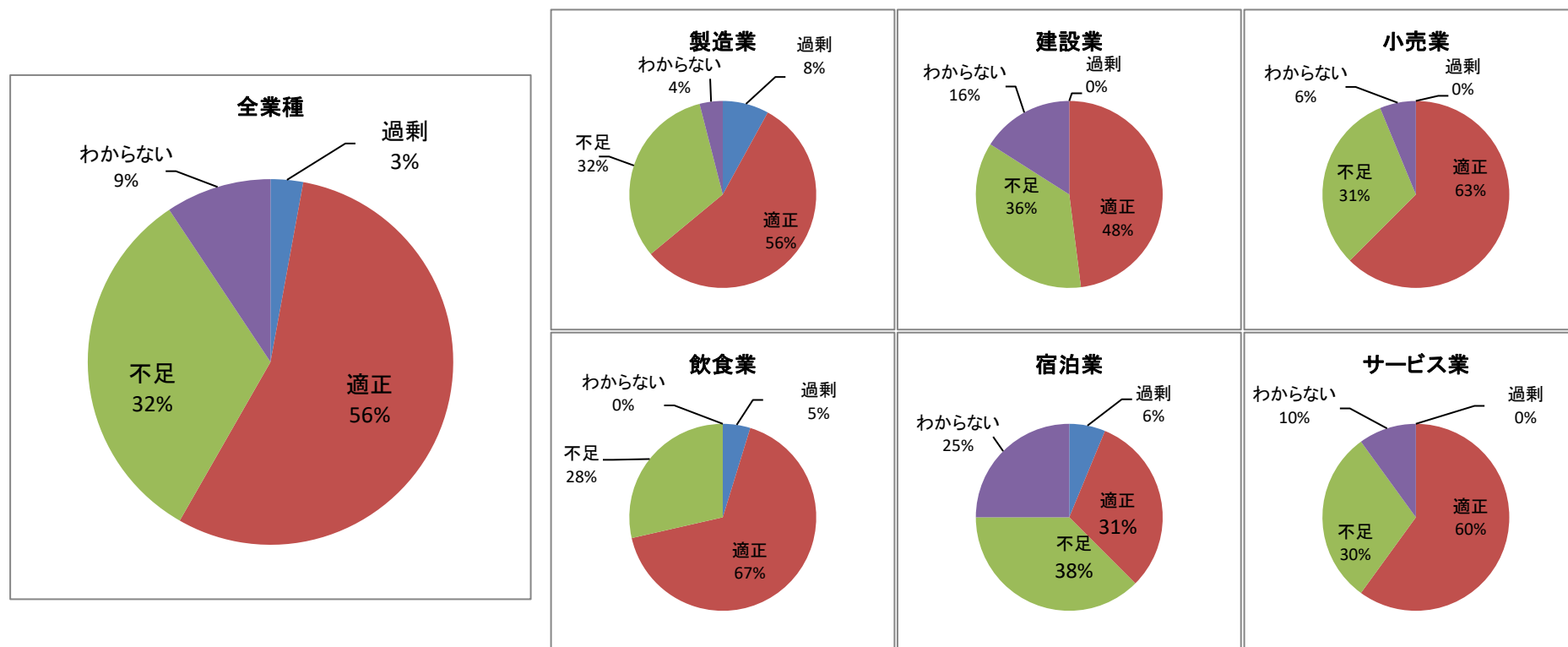


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 8	▲ 4	▲ 24	3	▲ 9	0	▲ 15
仕入単価	70	48	88	72	95	81	35
採算性	▲ 48	▲ 60	▲ 50	▲ 41	▲ 60	▲ 37	▲ 42
資金繰り	▲ 36	▲ 52	▲ 12	▲ 49	▲ 19	▲ 38	▲ 40
景況感	▲ 26	▲ 32	▲ 33	▲ 31	▲ 19	13	▲ 36

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R5.1～3月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
過剰	4	2.9%	2	8.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	1	6.3%	0	0.0%
適正	77	55.4%	14	56.0%	12	48.0%	20	62.5%	14	66.7%	5	31.3%	12	60.0%
不足	45	32.4%	8	32.0%	9	36.0%	10	31.3%	6	28.6%	6	37.5%	6	30.0%
わからない	13	9.4%	1	4.0%	4	16.0%	2	6.3%	0	0.0%	4	25.0%	2	10.0%
合計	139		25		25		32		21		16		20	

対前期比（R4.10～12月）

⑥従業員の人数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	3.8%	-1.4	13.6%	-5.6	0.0%	0.0	3.4%	-3.4	5.0%	-0.2	0.0%	6.3	0.0%	0.0
適正	50.8%	4.6	59.1%	-3.1	38.5%	9.5	58.6%	3.9	50.0%	16.7	28.6%	2.7	61.9%	-1.9
不足	39.4%	-7.0	22.7%	9.3	50.0%	-14.0	31.0%	0.3	45.0%	-16.4	64.3%	-26.8	33.3%	-3.3
わからない	6.1%	3.3	4.5%	-0.5	11.5%	4.5	6.9%	-0.6	0.0%	0.0	7.1%	17.9	4.8%	5.2

【実績】

全業種で見ると、従業員の人数は「適正」と回答した経営者が最も多く全体の55.4%を占める。次いで「不足」と回答した経営者は、32.4%である。前期比較では、「適正」が4.6ポイント上昇、「不足」は7.0ポイント低下しており、「適正」と回答した割合が増加した。

（製造業）「適正」と回答した経営者が56.0%と最も多いが、前期比較では「不足」が9.3ポイント上昇した。

（建設業）「適正」と回答した経営者が48.0%と最も多く、前期比較では「適正」が9.5ポイント上昇した。
「不足」と認識している経営者が36.0%で、全業種で宿泊業に次いで高い割合で「不足」と回答された業種となった。

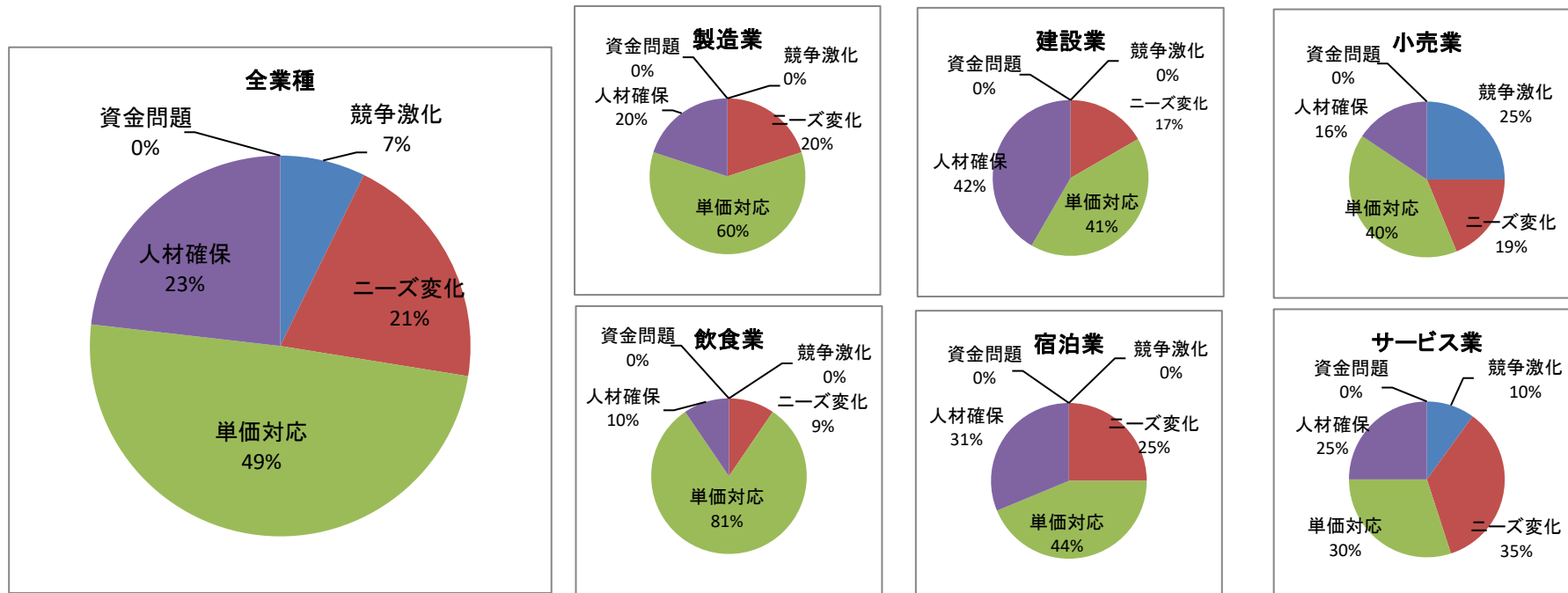
（小売業）「適正」と回答した経営者が62.5%と最も多く、前期比で3.9ポイント上昇。

（飲食業）「適正」と回答した経営者が66.7%と最も多く、全業種で「適正」割合が最も高い。前期比較では「適正」が16.7ポイント上昇した。
「不足」と認識する経営者は、28.6%で前期比より16.4ポイント低下した。

（宿泊業）「不足」と回答した経営者が37.5%と最も多く、全業種で「不足」割合が最も高い。しかし、前期比較では「不足」が26.8ポイント低下した。

（サービス業）「適正」と回答した経営者が60.0%と最も多いが、前期比較では「適正」が1.9ポイント低下した。

【5】直面している経営上の問題点について



今期 (R 5. 1 ~ 3)

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
大手企業 (大型店) 進出、インターネット普及による販売競争の激化	10	7.2%	0	0.0%	0	0.0%	8	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	10.0%	競争激化
消費者 (製品) ニーズ変化への対応	28	20.3%	5	20.0%	4	16.7%	6	18.8%	2	9.5%	4	25.0%	7	35.0%	ニーズ変化
仕入単価 (原材料) の上昇、販売受注単価の低下	68	49.3%	15	60.0%	10	41.7%	13	40.6%	17	81.0%	7	43.8%	6	30.0%	単価対応
必要な人材の雇用確保	32	23.2%	5	20.0%	10	41.7%	5	15.6%	2	9.5%	5	31.3%	5	25.0%	人材確保
事業資金の借入難	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	資金問題
合計	138		25		24		32		21		16		20		

対前期比（R4.10～12）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	9.1%	-1.9	0.0%	0.0	8.0%	-8.0	27.6%	-2.6	5.0%	-5.0	0.0%	0.0	4.8%	5.2	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	12.1%	8.2	21.7%	-1.7	8.0%	8.7	13.8%	5.0	5.0%	4.5	7.1%	17.9	14.3%	20.7	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	51.5%	-2.2	56.5%	3.5	44.0%	-2.3	34.5%	6.1	85.0%	-4.0	57.1%	-13.3	42.9%	-12.9	単価対応
必要な人材の雇用確保	27.3%	-4.1	21.7%	-1.7	40.0%	1.7	24.1%	-8.5	5.0%	4.5	35.7%	-4.4	38.1%	-13.1	人材確保
事業資金の借入難	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	資金問題

全業種でみると「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」と認識する経営者が最も多く49.3%の割合となった。
次いで「必要な人材の確保」、「消費者（製品）ニーズ変化への対応」の結果となった。

（製造業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が60%となり、6期連続で最も多く、対前期比でも3.5ポイント上昇した。
次いで「消費者（製品）ニーズ変化への対応」「必要な人材の雇用確保」が20%であった。

（建設業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」と「必要な人材確保」が41.7%であった。対前期比では、「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が2.3ポイント低下、「必要な人材確保」が1.7ポイント上昇した。

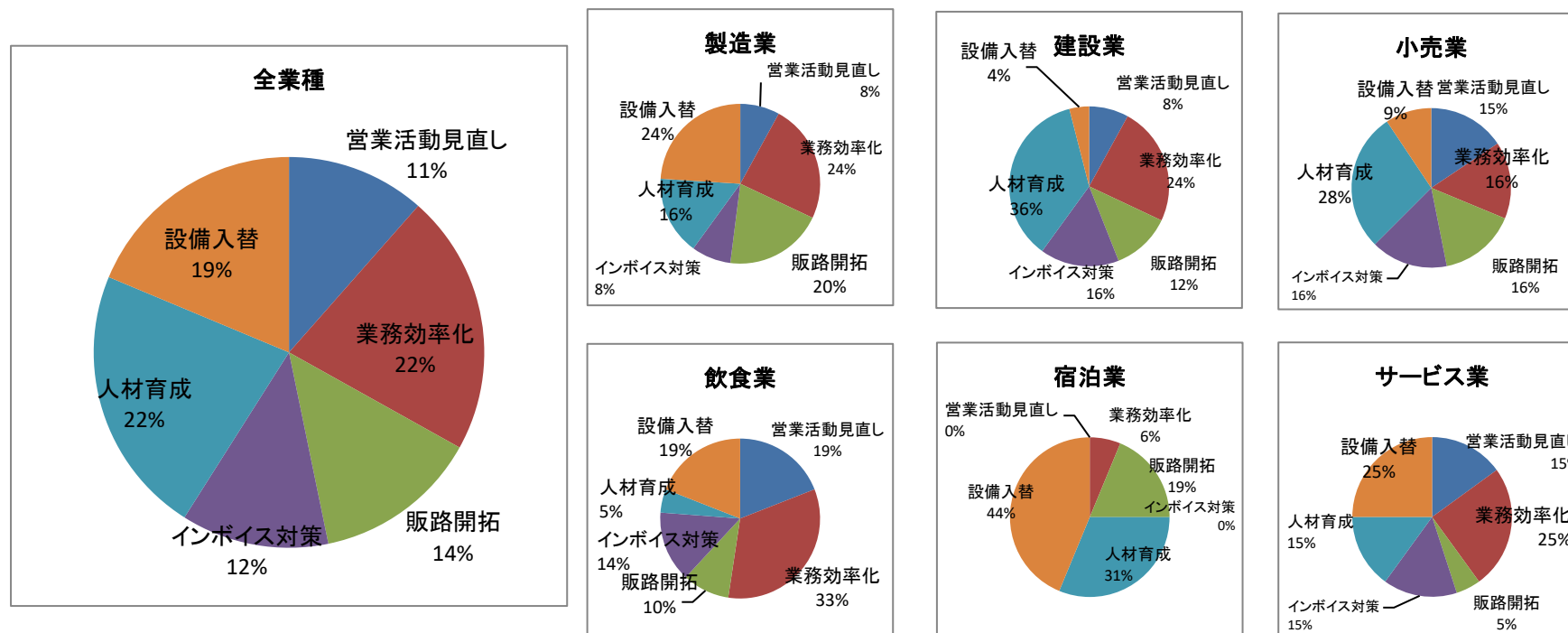
（小売業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が40.6%となり、4期連続で最も多く、対前期比でも6.1ポイント上昇した。
次いで「大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化」で対前期比2.6ポイント低下し、25.0%となった。

（飲食業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が81.0%となり、6期連続で最も多く、業種別でも最も高い割合となった。

（宿泊業）5期連続で「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が43.8%となり、6期連続で最も多いが、対前期比で13.3ポイント低下した。
「消費者ニーズ変化への対応」が17.9ポイントの大幅上昇となった。

（サービス業）「消費者ニーズ変化への対応」が35.0%で最も多く、対前期比では20.7ポイントの大幅上昇した。
「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」は12.9ポイント低下して、30%であった。

【6】今後、取り組んでいきたいこと



今期（R5.1～3）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	16	11.5%	2	8.0%	2	8.0%	5	15.6%	4	19.0%	0	0.0%	3	15.0%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	30	21.6%	6	24.0%	6	24.0%	5	15.6%	7	33.3%	1	6.3%	5	25.0%	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	19	13.7%	5	20.0%	3	12.0%	5	15.6%	2	9.5%	3	18.8%	1	5.0%	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	17	12.2%	2	8.0%	4	16.0%	5	15.6%	3	14.3%	0	0.0%	3	15.0%	インボイス対策
人材育成、社員教育	31	22.3%	4	16.0%	9	36.0%	9	28.1%	1	4.8%	5	31.3%	3	15.0%	人材育成
設備の入替・更新	26	18.7%	6	24.0%	1	4.0%	3	9.4%	4	19.0%	7	43.8%	5	25.0%	設備入替
合計	139		25		25		32		21		16		20		

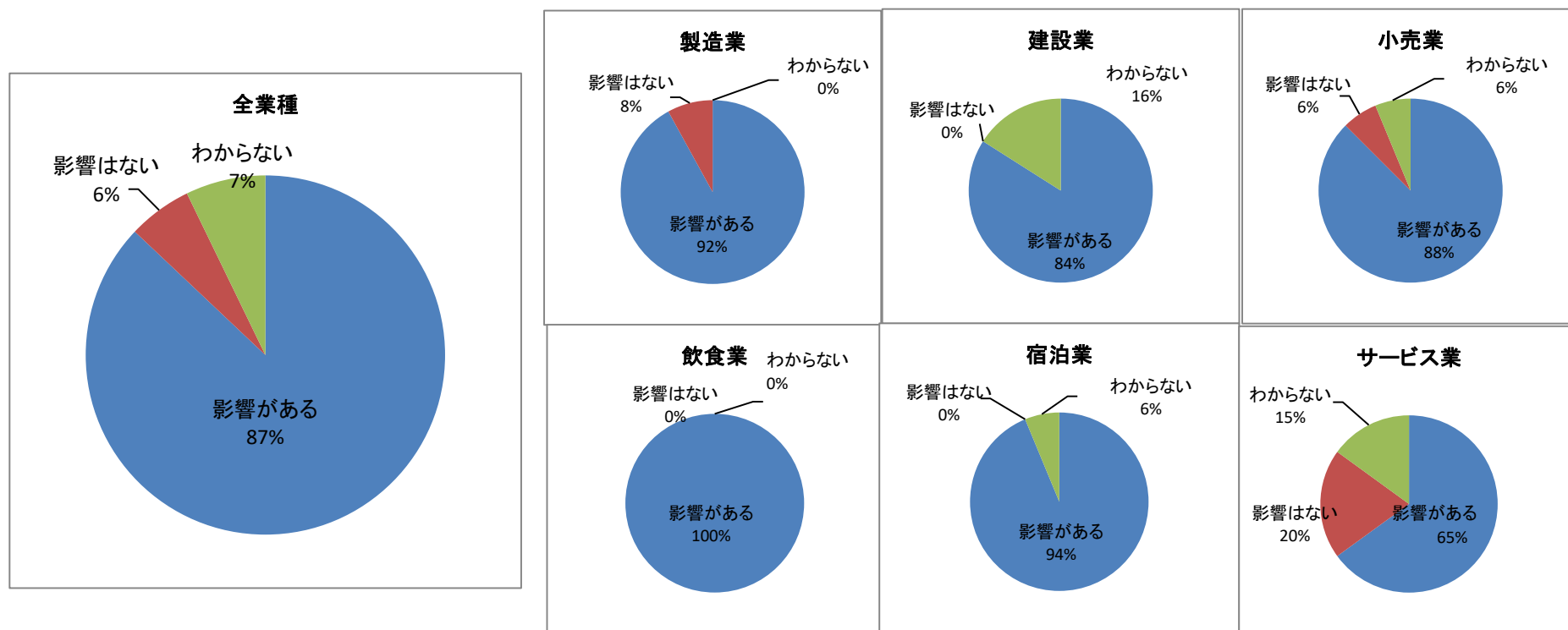
対前期比（R4.10～12）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	7.5%	4.0	8.7%	-0.7	7.7%	0.3	6.9%	8.7	5.0%	14.0	0.0%	0.0	14.3%	0.7	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	27.8%	-6.2	13.0%	11.0	15.4%	8.6	41.4%	-25.8	35.0%	-1.7	28.6%	-22.3	33.3%	-8.3	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	8.3%	5.4	4.3%	15.7	7.7%	4.3	10.3%	5.3	10.0%	-0.5	14.3%	4.5	4.8%	0.2	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	17.3%	-5.1	17.4%	-9.4	34.6%	-18.6	6.9%	8.7	20.0%	-5.7	14.3%	-14.3	9.5%	5.5	インボイス対策
人材育成、社員教育	23.3%	-1.0	39.1%	-23.1	34.6%	1.4	17.2%	10.9	20.0%	-15.2	21.4%	9.9	4.8%	10.2	人材育成
設備の入替・更新	15.8%	2.9	17.4%	6.6	0.0%	4.0	17.2%	-7.8	10.0%	9.0	21.4%	22.4	33.3%	-8.3	設備入替

経営者が「今後、取り組んでいきたいこと」として全業種では、「人材育成、社員教育」が1.0ポイント低下の22.3%で最も多かった。次いで「業務の効率化、仕事の見える化」が6.2ポイント低下の21.6%。「設備の入替・更新」が2.9ポイント上昇の18.7%。「販路開拓」が5.4ポイント上昇の13.7%であった。

- （製造業）「業務の効率化、仕事の見える化」（対前期比11.0ポイント上昇）、「設備の入替・更新」（6.6ポイント上昇）が24.0%となった。次いで「販路開拓」が20.0%で対前期比15.7ポイントと大きく上昇した。
- （建設業）「人材育成、社員教育」が1.4ポイント上昇し36.0%で最も多かった。「業務の効率化、仕事の見える化」は8.6ポイント上昇し24.0%となった。「インボイス制度対策、会計管理の見直し」は16.0%であり、18.6ポイント低下した。
- （小売業）「人材育成、社員教育」が10.9ポイント上昇し、28.1%であった。「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」「販路拡大」「インボイス制度対策、会計管理の見直し」はポイント上昇したが、「業務の効率化、仕事の見える化」は25.8ポイント大幅低下した。
- （飲食業）「業務の効率化、仕事の見える化」が1.7ポイント低下し33.3%で最も多かった。「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」は14.0ポイント上昇した。「人材育成、社員教育」は15.2ポイント大幅低下した。
- （宿泊業）「設備の入替・更新」が22.4ポイント大幅上昇し43.8%で最も多かった。次いで「人材育成、社員教育」が31.3%であった。「業務の効率化、仕事の見える化」が22.3ポイント大幅低下し6.3%であった。
- （サービス業）「業務の効率化、仕事の見える化」、「設備の入替・更新」が双方8.3ポイント低下し25.0%であった。「人材育成、社員教育」は10.2ポイント増加した。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期 (R 5. 1 ~ 3)

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
影響がある	121	87.1%	23	92.0%	21	84.0%	28	87.5%	21	100.0%	15	93.8%	13	65.0%
影響はない	8	5.8%	2	8.0%	0	0.0%	2	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	20.0%
わからない	10	7.2%	0	0.0%	4	16.0%	2	6.3%	0	0.0%	1	6.3%	3	15.0%
合計	139		25		25		32		21		16		20	

影響がある

影響はない

わからない

対前期比（R4.10～12）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
影響がある	85.7%	1.4	91.3%	0.7	88.5%	-4.5	82.8%	4.7	95.0%	5.0	92.9%	0.9	66.7%	-1.7
影響はない	8.3%	-2.5	4.3%	3.7	3.8%	-3.8	10.3%	-4.0	5.0%	-5.0	7.1%	-7.1	19.0%	1.0
わからない	6.0%	1.2	4.3%	-4.3	7.7%	8.3	6.9%	-0.6	0.0%	0.0	0.0%	6.3	14.3%	0.7

「影響がある」と回答した経営者の割合は、全業種で87.1%を超えており、「製造業」「飲食業」「宿泊業」は90%以上の割合で影響があると回答した。

（製造業）「影響がある」と回答した経営者は、92.0%であった。（対前期比0.7ポイント上昇）

（建設業）「影響がある」と回答した経営者は、84.0%であった。（対前期比4.5ポイント低下）

（小売業）「影響がある」と回答した経営者は、87.5%であった。（対前期比4.7ポイント上昇）

（飲食業）「影響がある」と回答した経営者は、100%であった。（対前期比5.0ポイント上昇）
全業種の中、で一番多く「影響がある」と指摘する経営者の率が高い。

（宿泊業）「影響がある」と回答した経営者は、93.8%であった。（対前期比0.9ポイント上昇）

（サービス業）「影響がある」と回答した経営者は、65.0%であった。（対前期比1.7ポイント低下）

【8】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について「影響がある」とご回答いただいた方について、その具体的な内容。

1	値上げが止まらない・・・2段3段の値上げが当たり前飲食店は1度上げると、2度目は簡単に上げられないのが現状（飲食業・日高）
2	何もかもが仕入価格上昇しており、大変困難な経営状況です。値上げのお願いに行くワークロードが大変で、例年より2～3倍の営業負担を感じます。（製造業・日高）
3	食材の値段の高騰は今後もあるが、電気代や炭代(BBQで使用)も高騰している。（宿泊業・日高）
4	商品内容が見直され（原価高騰に伴い）内容変更を余儀なくされている。（小売業・日高）
5	価格の高騰に歯止めがなく上昇し続けていることに加え、下請け依頼の人件費も高騰してきている。（建設業・竹野）
6	エネルギー価格高騰に伴う、原材料・資材の価格高騰が利益を圧迫している。昨年、価格改定を行ったが、再度の改定を進めなければならない状況。（製造業・竹野）
7	原材料費の更なる高騰。来期には価格の値上げを行う予定。（飲食業・城崎）
8	電気ガスなどの光熱費の高騰（宿泊業・城崎）
9	毎月値上げです（小売業・出石）
10	原材料の高騰のため値上げで対応しています（飲食業・出石）
11	水道光熱費、材料費等全てにおいて値上げの波。小売価格を上げるが、給料は上げれない悪循環。（飲食業・出石）
12	ありとあらゆる物の原材料の不足により、仕入れ価格が異常に高騰、仕入れ先も原材料が仕入れ出来ないという状況になっている。（飲食業・城崎）
13	食材がどんどん高くなっているが商品に転嫁できない。結果利益率が悪くなる。（飲食業・城崎）
14	仕入れ価格の上昇（小売業・竹野）
15	光熱費の負担がかなり影響がある。また、仕入価格が上昇し、すぐには価格変更できないため大変である。電気等の価格上昇に伴う補助があればうれしいです。（飲食業・出石）

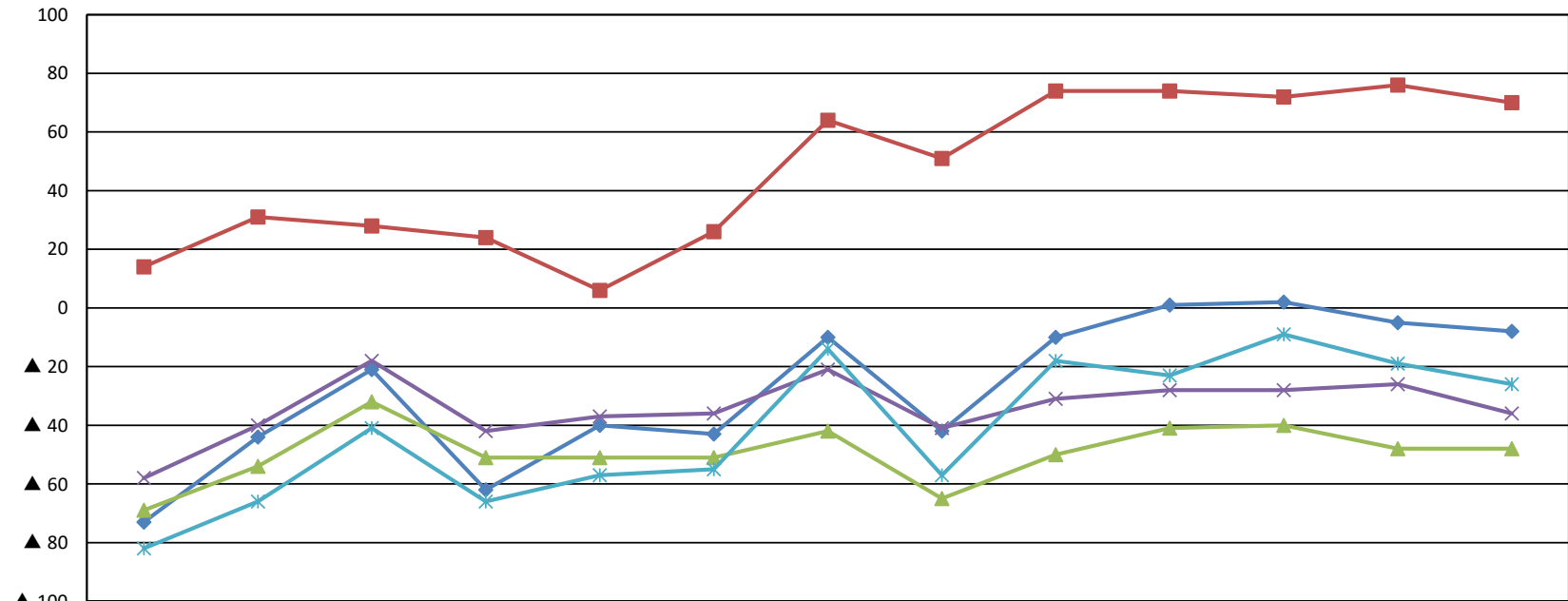
16	電気料金の高騰豊岡市省エネ補助金の抽選漏れ（製造業・但東）
17	度重なる商品の値上がりで、売り上げは低迷しているのに、電気代等の経費は高騰していて、非常に厳しい。（小売業・但東）
18	材料は価格の上昇だけでなく、特定の材料が調達しづらくなっている。材料が無いというよりもロシア・ウクライナの影響で海外の物流が機能していないところがあるため。（製造業・日高）
19	宿泊業として、冬季は宿泊客が少ない時でも電気・燃料費は同じように掛かってしまう。電気・燃料の価格上昇は大変堪える。（宿泊業・日高）
20	電気料金と原材料費の高騰がかなり悪影響です。（製造業・出石）
21	海外からの部品輸入が追いついていないせいか、精密機械は納期が遅い上に値上がりしている。（小売業・城崎）
22	原材料価格高騰（飲食業・日高）
23	知事が変わり入札件数の減少。公共事業の減少。（サービス業・日高）
24	原材料から包装資材類、公共料金、とすべてがかつてない値上がり。（小売業・日高）
25	材料減価の上昇、燃料費、電気代の上昇（製造業・日高）
26	変化があまりない（飲食業・但東）

【9】自由コメント

1	売上額が上がるのは単価が上がった分だけのことも考えられる。製造部門においても原価高騰に伴う価格改定が必要となる。（小売業・日高）
2	昨年のコロナ禍の真っ只中に比べ、多少入札案件も増えつつ有るので景気の好転と思いたいが、思うように受注出来ていない現状と、受注できても材料費と下請け人件費が高騰しており利益率を圧迫している。（建設業・竹野）
3	改修工事をしていたため、売り上げが減少（宿泊業・城崎）
4	豊岡市事業のエコ補助金はもう少し抽選方法を考えるなどして欲しかった。見積を精査、事業内容を加味する等するべき。（飲食業・出石）
5	食材がどんどん高くなっているが商品に転嫁できない。結果利益率が悪くなる。またコロナ対策で座席間をあけなければならず、また相席もできないので4人掛けが3つと6人掛けが1つの4テーブルの当店では1人、1人、2人、1人でも満席となってしまう、まったく売り上げが上がらない。（飲食業・城崎）
6	残念ながら豊岡市省エネ補助金の抽選に漏れてしまいました。職員の方々には色々と相談に乗っていただいたのに申し訳ありませんでした。（製造業・但東）
7	今季は積雪状態が悪いにも関わらず2月の売り上げはよかった。旅行支援・コロナ騒動の安定などが考えられる。（宿泊業・日高）
8	行政には人口減少問題の早期解決策を取組んで欲しい。（サービス業・日高）
9	原材料の高騰をどこまで価格転嫁できるのか。あるボーダーラインを超えると買っていただけなくなる。我慢していくしかないか。（小売業・日高）

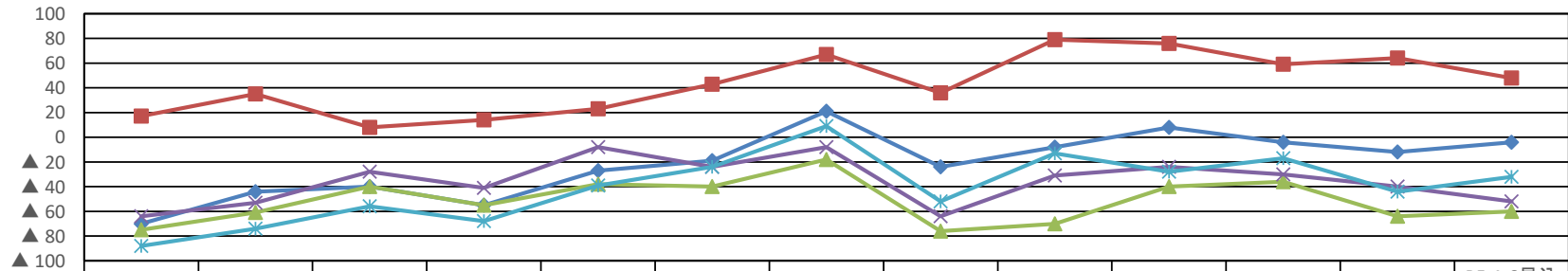
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



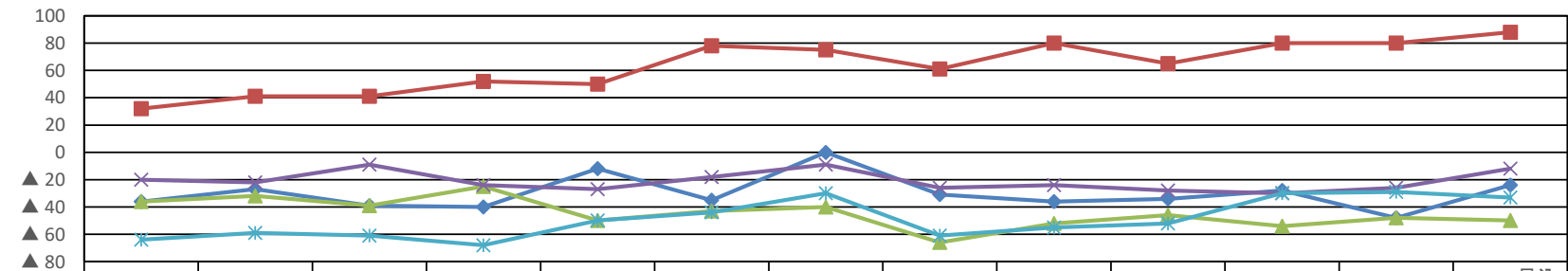
	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6見込み
売上高	▲ 73	▲ 44	▲ 21	▲ 62	▲ 40	▲ 43	▲ 10	▲ 42	▲ 10	1	2	▲ 5	▲ 8
仕入単価	14	31	28	24	6	26	64	51	74	74	72	76	70
採算性	▲ 69	▲ 54	▲ 32	▲ 51	▲ 51	▲ 51	▲ 42	▲ 65	▲ 50	▲ 41	▲ 40	▲ 48	▲ 48
資金繰り	▲ 58	▲ 40	▲ 18	▲ 42	▲ 37	▲ 36	▲ 21	▲ 41	▲ 31	▲ 28	▲ 28	▲ 26	▲ 36
景況感	▲ 82	▲ 66	▲ 41	▲ 66	▲ 57	▲ 55	▲ 14	▲ 57	▲ 18	▲ 23	▲ 9	▲ 19	▲ 26

製造業DI推移



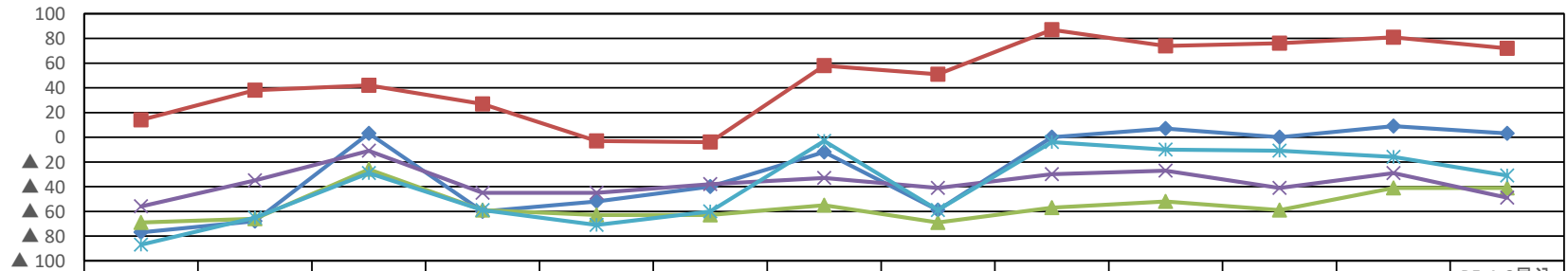
	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6見込み
● 売上高	▲ 70	▲ 44	▲ 40	▲ 55	▲ 27	-19	21	▲ 24	▲ 8	8	▲ 4	▲ 12	▲ 4
■ 仕入単価	17	35	8	14	23	43	67	36	79	76	59	64	48
▲ 採算性	▲ 75	▲ 61	▲ 40	▲ 55	▲ 38	▲ 40	▲ 18	▲ 76	▲ 70	▲ 40	▲ 36	▲ 64	▲ 60
✕ 資金繰り	▲ 64	▲ 53	▲ 28	▲ 41	▲ 8	▲ 24	▲ 8	▲ 64	▲ 31	▲ 24	▲ 30	▲ 40	▲ 52
✧ 景況感	▲ 88	▲ 74	▲ 56	▲ 68	▲ 39	▲ 24	9	▲ 52	▲ 13	▲ 28	▲ 17	▲ 44	▲ 32

建設業DI推移



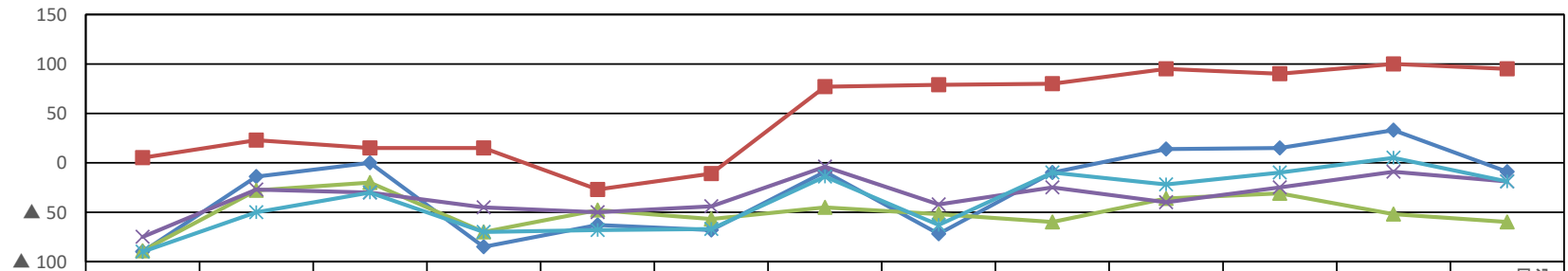
	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6見込み
● 売上高	▲ 36	▲ 27	▲ 39	▲ 40	▲ 12	▲ 35	0	▲ 31	▲ 36	▲ 34	▲ 28	▲ 48	▲ 24
■ 仕入単価	32	41	41	52	50	78	75	61	80	65	80	80	88
▲ 採算性	▲ 36	▲ 32	▲ 39	▲ 25	▲ 50	▲ 43	▲ 40	▲ 66	▲ 52	▲ 46	▲ 54	▲ 48	▲ 50
✕ 資金繰り	▲ 20	▲ 22	▲ 9	▲ 24	▲ 27	▲ 18	▲ 9	▲ 26	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 26	▲ 12
✧ 景況感	▲ 64	▲ 59	▲ 61	▲ 68	▲ 50	▲ 44	▲ 30	▲ 61	▲ 55	▲ 52	▲ 30	▲ 29	▲ 33

小売業DI推移



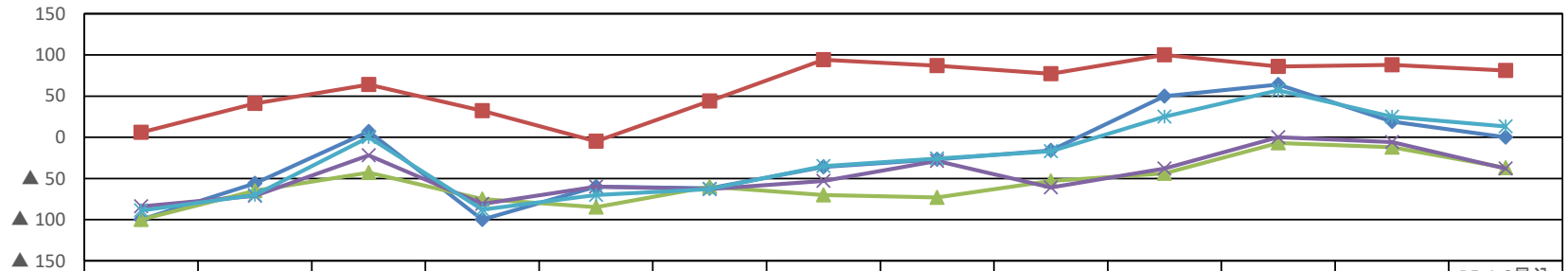
	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6見込み
● 売上高	▲ 77	▲ 68	3	▲ 60	▲ 52	▲ 40	▲ 12	▲ 59	0	7	0	9	3
■ 仕入単価	14	38	42	27	▲ 3	▲ 4	58	51	87	74	76	81	72
▲ 採算性	▲ 69	▲ 66	▲ 26	▲ 59	▲ 63	▲ 63	▲ 55	▲ 69	▲ 57	▲ 52	▲ 59	▲ 41	▲ 41
✕ 資金繰り	▲ 56	▲ 35	▲ 11	▲ 45	▲ 45	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 30	▲ 27	▲ 41	▲ 29	▲ 49
✧ 景況感	▲ 87	▲ 65	▲ 29	▲ 59	▲ 71	▲ 60	▲ 3	▲ 59	▲ 4	▲ 10	▲ 11	▲ 16	▲ 31

飲食業DI推移



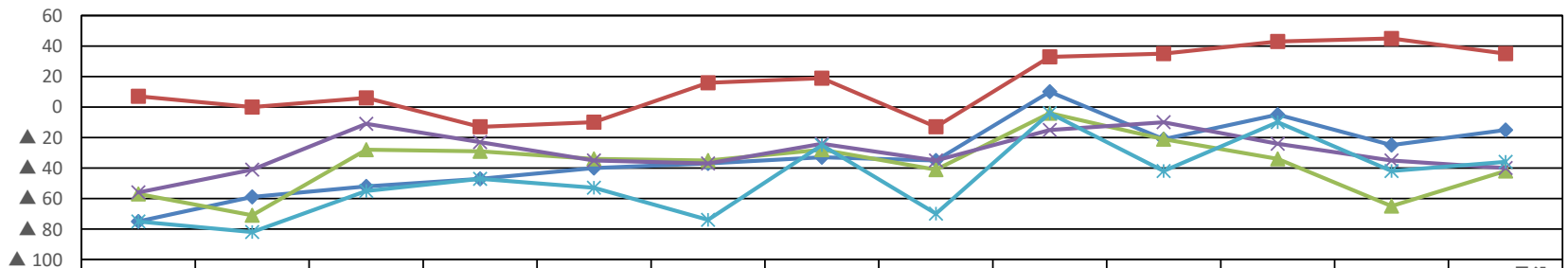
	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6見込み
● 売上高	▲ 90	▲ 14	0	▲ 85	▲ 63	▲ 68	▲ 9	▲ 72	▲ 10	14	15	33	▲ 9
■ 仕入単価	5	23	15	15	▲ 27	▲ 11	77	79	80	95	90	100	95
▲ 採算性	▲ 89	▲ 28	▲ 20	▲ 70	▲ 48	▲ 57	▲ 45	▲ 52	▲ 60	▲ 36	▲ 31	▲ 52	▲ 60
✕ 資金繰り	▲ 75	▲ 27	▲ 30	▲ 45	▲ 50	▲ 44	▲ 4	▲ 42	▲ 25	▲ 40	▲ 25	▲ 9	▲ 19
✧ 景況感	▲ 90	▲ 50	▲ 30	▲ 70	▲ 68	▲ 67	▲ 14	▲ 63	▲ 10	▲ 22	▲ 10	5	▲ 19

宿泊業DI推移



	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6見込み
● 売上高	▲ 100	▲ 56	7	▲ 100	▲ 60	▲ 62	▲ 36	-27	▲ 16	50	64	19	0
■ 仕入単価	6	41	64	32	▲ 5	44	94	87	77	100	86	88	81
▲ 採算性	▲ 100	▲ 65	▲ 43	▲ 75	▲ 85	▲ 60	▲ 70	▲ 73	▲ 53	▲ 44	▲ 7	▲ 12	▲ 37
× 資金繰り	▲ 84	▲ 71	▲ 22	▲ 81	▲ 60	▲ 63	▲ 53	▲ 29	▲ 61	▲ 38	0	▲ 6	▲ 38
* 景況感	▲ 89	▲ 70	0	▲ 88	▲ 70	▲ 63	▲ 35	▲ 26	▲ 17	25	57	25	13

サービス業DI推移



	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6見込み
● 売上高	▲ 75	▲ 59	▲ 52	▲ 47	▲ 40	▲ 37	▲ 33	▲ 35	10	▲ 21	▲ 5	▲ 25	▲ 15
■ 仕入単価	7	0	6	▲ 13	▲ 10	16	19	▲ 13	33	35	43	45	35
▲ 採算性	▲ 57	▲ 71	▲ 28	▲ 29	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 41	▲ 4	▲ 21	▲ 34	▲ 65	▲ 42
× 資金繰り	▲ 56	▲ 41	▲ 11	▲ 23	▲ 35	▲ 37	▲ 24	▲ 35	▲ 15	▲ 10	▲ 24	▲ 35	▲ 40
* 景況感	▲ 75	▲ 82	▲ 55	▲ 47	▲ 53	▲ 74	▲ 25	▲ 70	▲ 4	▲ 42	▲ 10	▲ 42	▲ 36